

平成29年度 「ふれあい地域懇談会」報告書

＜ 玉 縄 地 域 ＞

日 時	平成29年7月13日（木） 午後3時～5時
場 所	玉縄学習センター 第4集会室
出 席 者	自治・町内会代表 26団体：27名 地域団体代表 4団体： 4名 計31名 鎌倉市 7名
内 容	
第 1 部	市長からの報告..... P. 1 ①「公共施設再編の取組」 ②「不適切な事務処理」 ③「放課後かまくらっ子」 ④「ごみ焼却施設」
第 2 部	地域の懸案事項に関する報告..... P. 17 ① 震災におけるお寺の境内や駐車場の一時開放について
第 3 部	本年度の地域の議題に関する懇談..... P. 21 ① 大船駅西口周辺に時計（台）の設置 ② 公園に高齢者用運動器具の設置を ③ 山崎跨線橋北交差点の交通整備 ④ 歩道の整備 ⑤ 防犯チャイムの開設 ⑥ 防犯灯設置と防犯カメラ設置 ⑦ ごみ焼却施設建設問題
付 録	当日配布資料..... P. 41

出席者名簿（敬称略）

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	台新町自治会	重田 秀明	会長
2	戸部本町町内会	小泉 豊	会長
3	新富町町内会	高田 隆	会長
4	坂本町町内会	飯田 典男	会長
5	山王町内会	吉田 好明	会長
6	玉川町町内会	小林 享一	会長
7	岡本町内会	永末 大	
8	D I Kマンション自治会	角田 時子	会長
9	鎌倉ロジュマン自治会	石井 英明	会長（司会）
10	大船コーポビアネーズ管理組合	西村 亮平	会長
11	植木町内会	山崎 一二	会長
12	東急ドエルアルス鎌倉植木管理組合	長浜 昭男	
13	オーベル鎌倉植木管理組合	伏見 純一	会長
14	鎌倉岡本ガーデンホームズ自治会	鈴木 康夫	会長
15	四季の杜自治会	松浦 宏	会長
16	ラシェール鎌倉岡本ハイライズ自治会	植木 典子	会長
17	レックスガーデン鎌倉岡本自治会	遠藤 泰子	会長
18	玉縄台自治会	増川 勇次郎	会長
19	関谷城廻町内会	正木 重郎	会長
20	早雲台自治会	三浦 志津子	会長
21	城廻自治会	渡辺 寿三	会長
22	星和城廻自治会	塩田 文子	会長
23	城廻清水小路自治会	大澤 清春 石井 正夫	会長
24	新風台自治会	圓谷 光	会長
25	鎌倉関谷スカイハイツ自治会	竜崎 哲雄	会長
26	鎌倉グリーンマンション管理組合法人	稲川 中也	

【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	玉縄地区社会福祉協議会	小川 サヨ子	
2	第九地区民生委員児童委員協議会	深見 正美	
3	鎌倉市老人クラブ連合会玉縄地区	矢地 豊吉	
4	鎌倉市青少年指導員連絡協議会玉縄地区	平野 守久	

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	経営企画部長	比留間 彰	
3	防災安全部長	柿崎 雅之	
4	まちづくり景観部長	齋藤 和徳	
5	都市整備部	樋田 浩一	

6	環境部長	石井 康則	
7	玉縄支所長	下平 和彦	

第1部 市長からの説明

【全地域共通】

平成29年度ふれあい地域懇談会

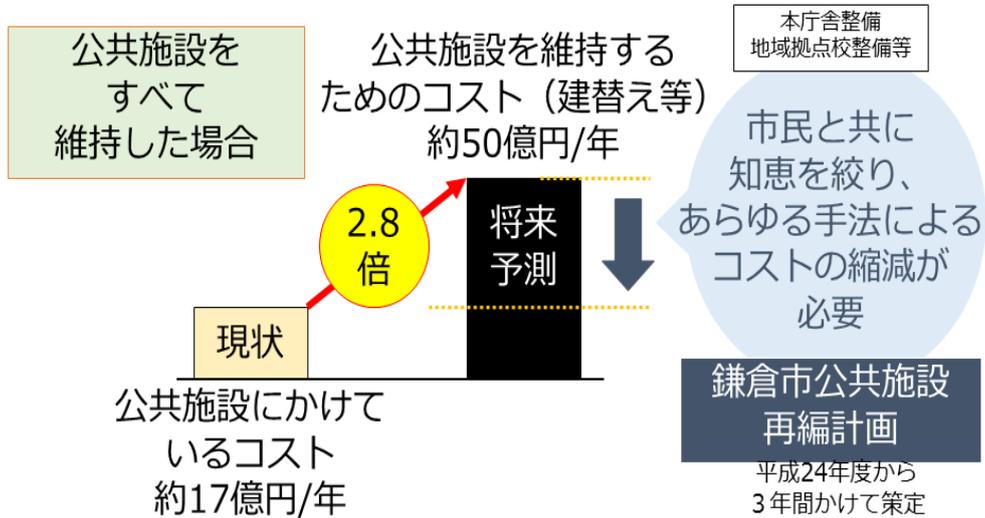
第1部 市長からの報告



- 公共施設再編の取組
- 不適切な事務処理
- 放課後かまくらっ子
- ごみ焼却施設

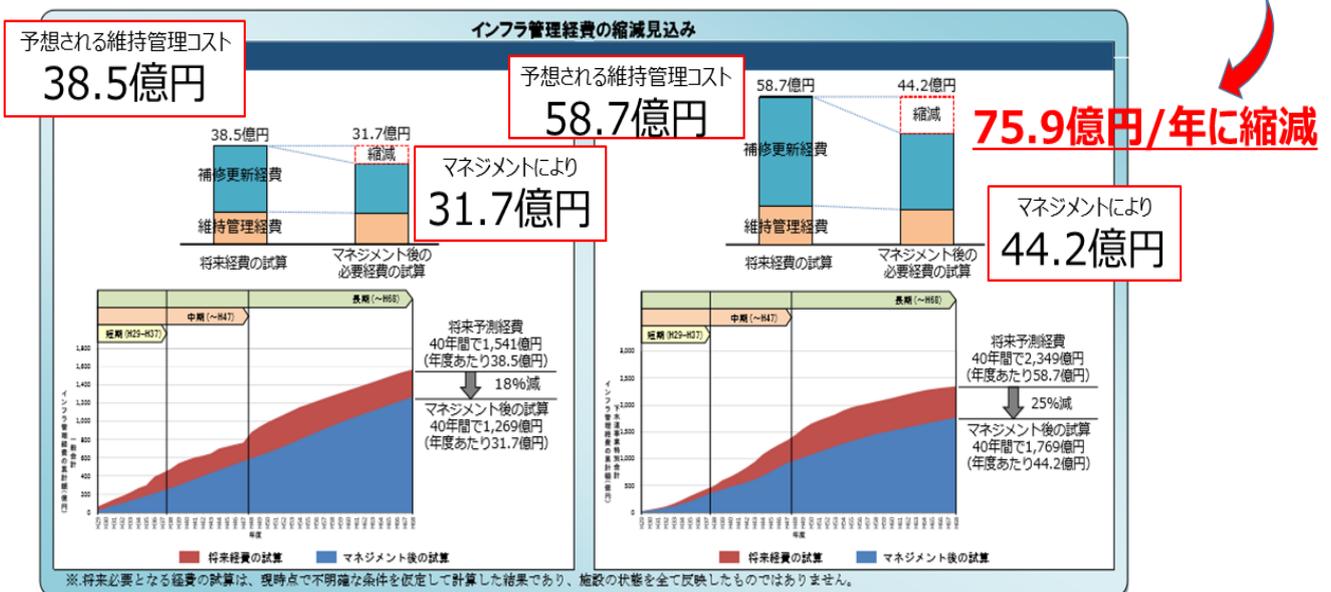
公共施設再編の取組について

- ◆ 前提は「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない」



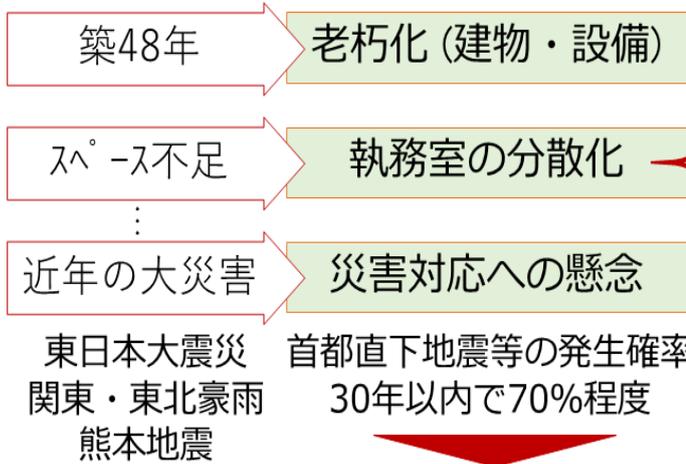
削減が可能な公共施設（建築物）に対し、削減が不可能な社会基盤

道路・下水道・公園などの社会基盤の維持管理には、今後、**年間約98億円が必要**

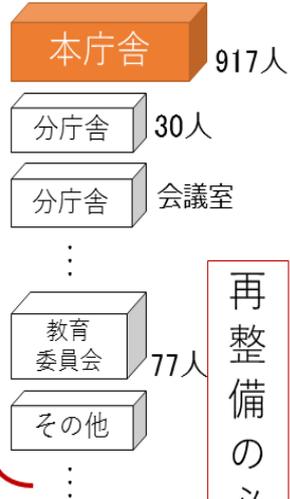


本庁舎の整備方針について

◆ 主な課題・背景



分散化の状況



再整備の必要性

災害時に機能不全に陥ることなく、
全市的な防災拠点としての機能を果たす重要性

◆ 検討経過

市民対話等 (市民参画)

(広報かまくら2/1号1面)



「市民対話」参加者の思い



(市民対話の様子)



連携

本庁舎整備方針策定委員会
(学識経験者や関係団体代表者)



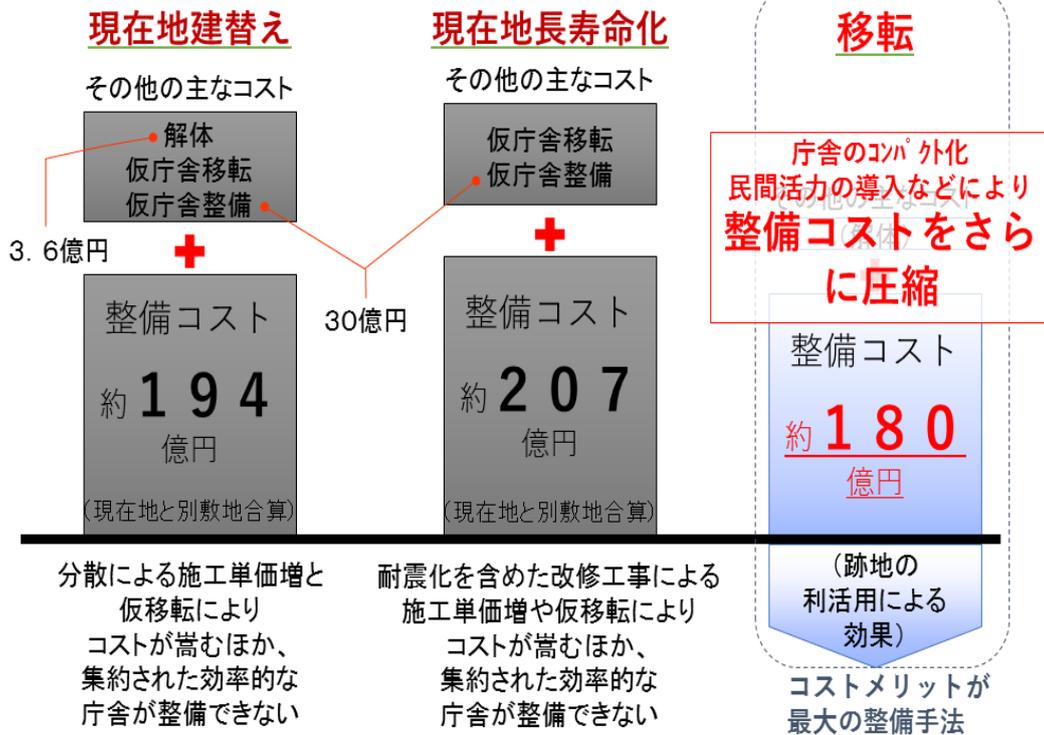
パブリックコメント
(移転とした(素案)について)

整備方針決定

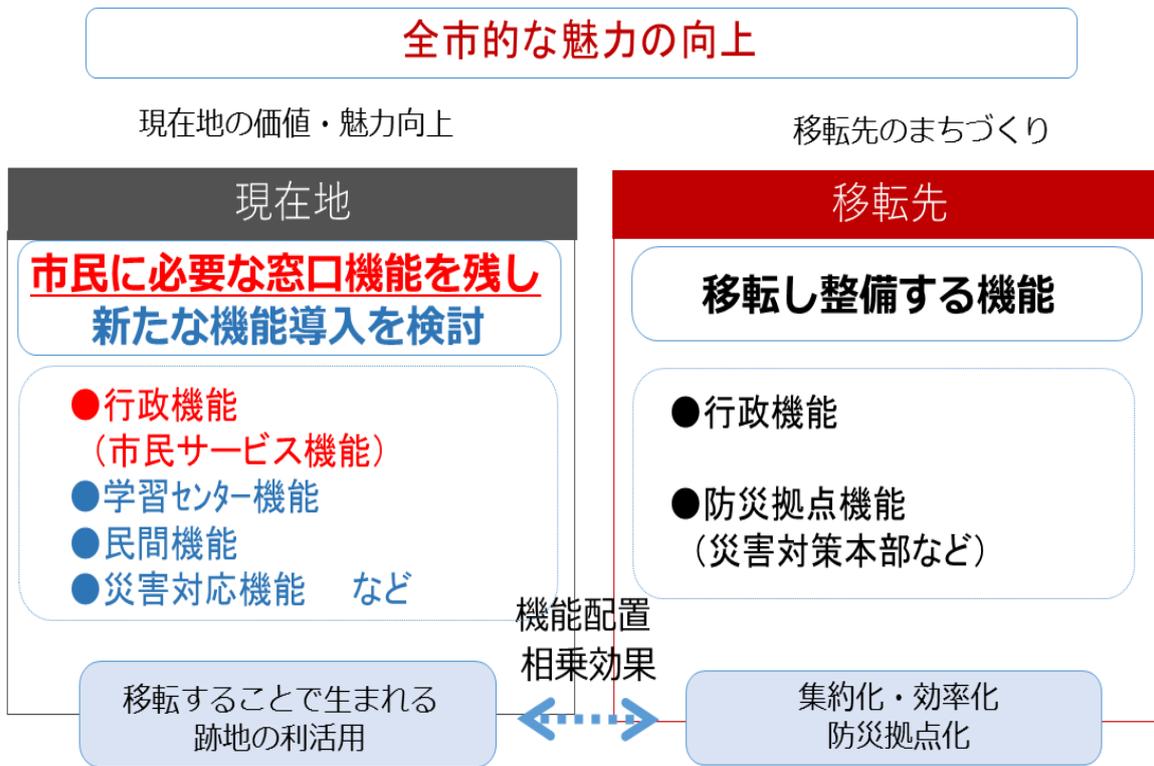
『本庁舎の移転』

(平成29(2017)年3月)

◆ 建設コスト規模の比較 (イメージ)



◆ 本庁舎の整備方針



◆ 本庁舎の整備方針

現在地の利活用

残す機能

- 行政機能（市民サービス機能）

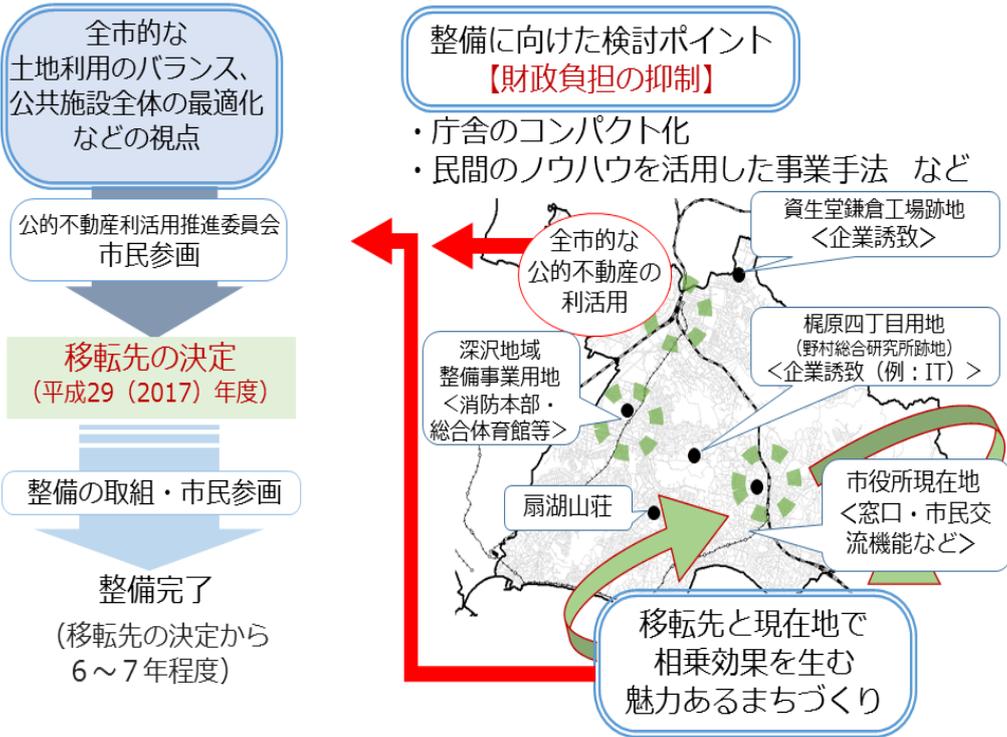
新たな機能導入を検討

- 学習センター機能・市民交流機能
- 民間機能
- 災害対応機能 など

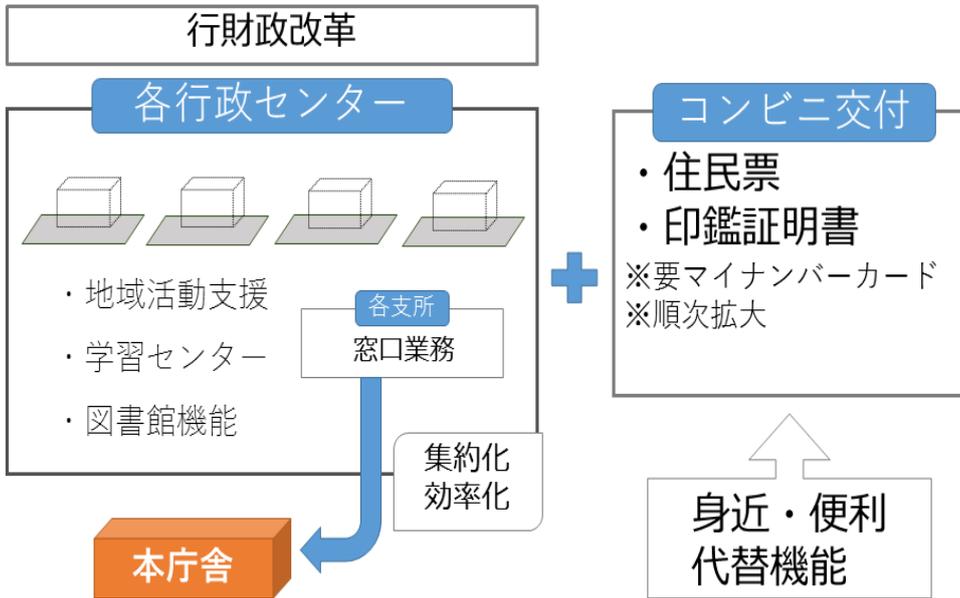


イメージ（神奈川大学作成）

◆ 具体的な移転の候補地について



◆ 支所業務のあり方について



不適切な事務処理に関する調査結果の最終報告

生活保護費支給事務

- ◆経過 生活福祉課で保管していた生活保護費の一部がなくなっていることが発覚
(厚生労働省による実地指導監査の準備時)



内部調査・鎌倉警察署との協議等

- 9月16日 「盗難」による被害届を提出
12月25日 警察の捜査により、新たに判明した分の被害届を追加提出

- ◆処分 25名を処分（平成28年12月21日付）
停職6カ月1名 停職1カ月1名
10%減給3カ月1名
10%減給1カ月1名
10%減給15日1名
戒告3名 訓告3名 訓告又は注意14名

- ◆賠償 亡失した2,665,937円の賠償
市の損害回復のため、**関係職員に賠償請求を行い全額が納付される。**

- ◆市長等給与を削減
市長 10%減給3カ月
元副市長 10%減給1カ月
教育長 10%減給1カ月

改善・見直しの取り組み

◆生活保護支給の見直し

- 現金支給の見直し
本庁舎及び4支所 → 本庁舎窓口のみ
- 保護費口座振込みの推進
口座振込み 760件/803件 **94.6%** (平成29年7月定例支給分)
現金払い 12件/803件 **1.5%**
その他現金書留など
- 現金書留による支給 ・ 領収書書式の変更

◆受給者の類型別の改善

- 新規受給者への保護費支給
生活福祉課が保護費をキャビネット → 福祉総務課が会計課から保護費
に保管し単独で支給 を払い出し
生活福祉課職員立会いで支給
- 継続受給者への保護費支給
「鎌倉市生活保護費現金支給マニュアル」(平成28年1月作成)に
基づき、適切に保護費を支給

◆生活保護費支給事務に関する改善

- 現金出納員などとしての意識の徹底と情報共有
役割、責任(賠償責任)の周知徹底
会計管理者と現金出納員などとの意見交換、情報共有の場の設定
- 公金の保管方法の徹底
会計課金庫室内の増設、金庫の貸出などの運用開始。
「公金の保管状況等検査計画」(9月)を策定
- 公金の取り扱い意識の徹底など
経理事務研修の充実
「公金取扱い基本マニュアル」(9月)を策定し、各課へ配布

組織体制の見直し

◆コンプライアンス担当の設置（平成28年4月1日設置）



職員研修の強化、全庁的なコンプライアンス推進体制の構築
（各保育園や学童、こどもの家などの非常勤嘱託員やアルバイトにも研修を実施）

◆コンプライアンス推進参与を設置（平成28年8月30日設置）



大久保 和孝
新日本有限責任監査法人
（経営専務理事 ERM本部長、公認会計士）

◆コンプライアンス推進委員会の設置

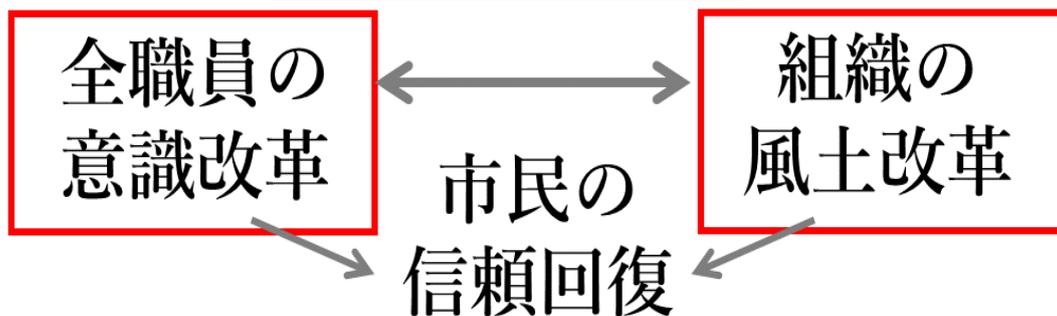
◆コンプライアンスに関する意識調査を実施

- ・調査の目的 組織風土改革や問題の端緒を把握
- ・調査の実施時期 平成29年3月2日～13日
- ・対象者 鎌倉市職員（常勤、非常勤、アルバイトを含む）



平成29年度上期 コンプライアンスの方向性を示す行動指針、
具体的な取り組み内容をまとめた行動計画を策定
下期 行動計画を実行

信用と信頼の回復に向けて



◆放課後かまくらっ子



◆アフタースクールの一環として

～放課後子ども教室～現在の取り組み（平成28年度）



・稲村ヶ崎小学校

昔遊び・本の読み聞かせ・自由画・音楽教室・理科教室・紙芝居・宝箱作り

講師：老人会、保護者、地域スポーツ振興会、卒業生、近隣住民の方など



土曜日ニグラの様子



アートコースの様子

・今泉小学校

サイエンスコース、囲碁コース、アートコースなど

講師：今泉台おもしろクラブ（理科的、算数的な分野を専門とする地域の方々の集まり）

◆放課後かまくらっ子の実施計画



平成30年度 深沢小学校、関谷小学校

平成31年度 9校

平成32年度 16校（全校）

子どもたちに多様なプログラムを教えてください。講師として、地域の皆様のご協力をお願いします！



◆ごみ焼却施設

1.これまでの話合いの経過

平成27年4月

建設候補地を山崎下水道終末処理場未活用地とすることを公表
(選定理由：特に重要である災害時におけるエネルギーの有効利用の視点が優れ、山崎浄化センターとの相乗効果が図れる。)

平成27年4月～8月

周辺住民及び市民への説明

平成27年10月

「新ごみ焼却施設建設に反対する住民の会」結成
(これまで8回の話合い)

2.周辺住民からの主な意見と市の考え

主な意見

鎌倉市への不信感
(山崎浄化センターの臭気対策や上部利用等当時の約束を履行していない。)

負担の公平性・平等性への斟酌の欠如
(山崎浄化センターがある中で、さらに迷惑施設であるごみ焼却施設は受け入れられない。)

市の考え

・十分でなかった点はお詫びし、施設の運営と維持管理について、新ごみ焼却施設の建設とは別に山崎浄化センター連絡協議会で協議を重ねて適切な対応を図る。

・負担を軽減するため、安全で安心な施設整備を図るとともに、周辺まちづくりの推進を図り地域に最大限貢献できる施設づくりを図る。

主な意見

交通量の増大に伴う交通渋滞の増長と交通安全への懸念の増大

面積も狭く地盤も軟弱、山崎浄化センターの将来計画が示されていない

リスクは集中より分散を

市の考え

・収集車両台数は最大で168台/日と想定し、大きな支障はないと評価
・実際の交通状況を一緒に確認し、話し合いをすることにより交通環境の整備を図る。

・施設建設に必要な5,000㎡以上あり建設可能と評価
・地盤は軟弱で、費用は他の候補地より高額となるが強靱化は可能と評価
・施設をコンパクトで機能性の高い施設にすることで、下水道の将来計画に影響がないと判断

・国の方針に基づき、施設を強靱化することにより、平常時はもとより災害時もエネルギーの供給が可能。
・2つの施設が隣接することで効果や有効性が高いと判断し、集約を図る。

3.施設づくりの考え方

安全な施設づくり

最新の技術の導入による環境負荷の軽減及び施設の強靱化の実施

安心感の提供

・圧迫感等の軽減
・臭気対策
・車両増加等への対策
・大気及び土壌への対策
・騒音及び振動対策
・情報共有等が図れる体制整備

周辺まちづくりの考え方

新ごみ焼却施設と山崎浄化センター及び鎌倉武道館が連携し、地域コミュニティを促進させるため、「地域防災の推進」、「健康づくりの増進」、「安全安心のまちづくりの推進」を図る。

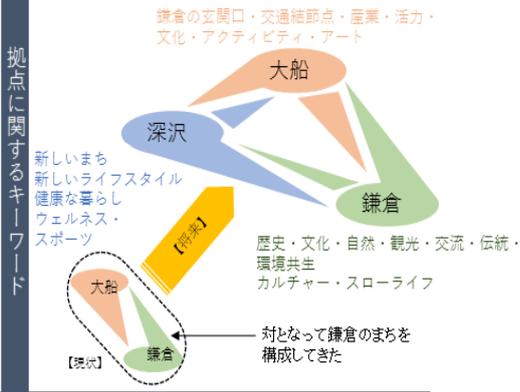
◆ 大船・深沢ゾーン

全市的なまちづくりの
新たな視点

3つの拠点が特性を生かすこと
で、新しい人の流れをつくる
鎌倉市の新しい魅力を創出する

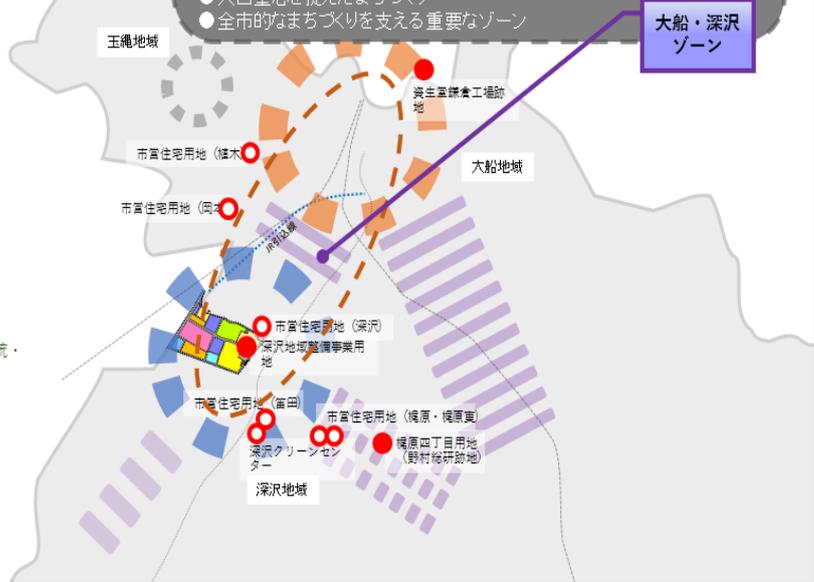
拠点整備の視点から

3つの拠点が特性を生かした役割分担をこなし、
互いに影響し合うことで、
鎌倉市の魅力に磨きをかける



【新たな視点・コンセプト】

- 深沢のまちづくりと一体的な発展を全市的に広げていく上で重要なゾーン
- 新規成長産業等の誘導を行う大船の活力、深沢の新しい力が融合するゾーン
- 大船・深沢ゾーンから、拠点の域を拡大した大船・深沢ベルト化の推進
- これにより、鎌倉を支える背骨の役割を担い、新たな価値や活力を生み出すことで、新しい人の流れをつくる (拠点間ネットワークの融合・拠点域の拡大)
- 人口重心を捉えたまちづくり
- 全市的なまちづくりを支える重要なゾーン



4. 周辺まちづくりについて



第1部 市長からの説明に対する意見・質疑

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

引込み線の買収というのは、全部買う予定ですか。

<松尾市長>

JRから一括売却の希望があり、これまで三菱電機と三者で協議をしてきました。三菱電機からは敷地内の土地は自分たちで活用したいとの要望があるため、市が一括購入した後、三菱電機の土地と交換する形で考えています。細い道路を拡幅するために土地を譲っていただく話をしています。

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

距離は長いですが、幅が狭いのでどのように活用するのか気にしていました。

<岡本町内会・永末副会長>

私たちの町内会は町内会館ができて有効利用したいと思っているところですが、放課後かまくらっ子の取り組みは初めて聞きました。かまくらっ子の活動や感覚と言うのは我々の年代は非常に薄いと思います。我々は子どもの面倒をみるという発想がないので、我々にこのような取り組みをアピールしていただかないと、この取り組みの大事さが伝わらないと思うのでお願いします。

<松尾市長>

承知しました。

第2部 地域の懸案事項に関する報告 【玉縄地域】

平成29年度 ふれあい地域懇談会



玉縄地域

- 震災におけるお寺の境内や駐車場の一時開放について

震災におけるお寺の境内や駐車場の一時開放について

【防災安全部 総合防災課】



大規模災害が発生



- 状況に応じ地区内の民間事業所などに協力を求めていく必要がある
 - コーナン商事とも協議中
 - 市内の一部の社寺と風水害避難所や帰宅困難者一時滞在所として協定を締結
- ※災害後に施設としての安全が確認された場合、対応が可能



第2部 「地域の懸案事項に関する報告」に対する意見・質疑

<植木町内会・山崎会長>

コーナンの駐車場開放につきましては地域住民との交渉はうまくいっていない。災害時の小中学校の校庭、市の施設については優先的に開放してもらおう要望を連名で出したつもりです。市でできるものは早急にやってもらいたい。いつ起きるかわからない、災害については地域別にできる対応はしていますが、対応は困難です。

これから増築が計画されている湘南鎌倉総合病院についても、地域の防災の一員としてぜひお願いしたいと個別にお願いしています。現状では市の施設を早急に開放してもらわないと我々は、地震があったら自宅で倒壊するのを待つのみになってしまいます。一時的な避難場所に行くのも無理だと思えますので、神社仏閣あるいは小中学校の校庭の開放を早急をお願いしたいです。

<松尾市長>

引き続き協議をしていきます。

《後日対応 防災安全部総合防災課》

小中学校は、一次避難所として運用していき、校庭の利用については広域避難所や給水所としての用途もあるため、状況に応じて検討していきます。寺社の一部とは協定を締結し、帰宅困難者一時避難所に指定しており、今後も協力可能な団体との協定の可能性について模索していきます。

<第9地区民生委員児童委員協議会・深見氏>

私はあるボートクラブに所属していますが、昨年熊本の震災が発生したときに熊本のボート関係者から1週間おきにメールをもらい、マスメディアで報道されないさまざまなことを知りました。

余震が続き自宅がいつ倒壊するかわからない不安の中、公共施設や大規模駐車場で過ごす状況だったわけですが、駐車場で過ごす方は、エコノミー症候群など2次災害3次災害にあっているのをそのメールで知りました。開放しても同時にケアをする体制を整えていかないと意味がないと思います。

<松尾市長>

そのような状況があるのは認識しています。福祉的なアプローチも必要だと思います。まずは災害になる前に訓練等を通じて周知していくことからスタートしていきたいと思います。

《後日対応 防災安全部総合防災課》

災害時に二次的に被害が拡大しないよう、初動訓練を行うと同時に、自助・共助の取り組みの支援を続けていきます。

第3部

本年度の地域の議題に関する懇談

H29－玉縄－1	大船駅西口周辺に時計（台）の設置
H29－玉縄－2	公園に高齢者用運動器具の設置を
H29－玉縄－3	山崎跨線橋北交差点の交通整備
H29－玉縄－4	歩道の整備
H29－玉縄－5	防犯チャイムの開設
H29－玉縄－6	防犯灯設置と防犯カメラ設置
H29－玉縄－7	ごみ焼却施設建設問題

平成 29 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	29-玉縄-1
テ ー マ	大船駅西口周辺に時計（台）の設置
内 容 詳 細	以前、大船駅西口大和橋たもとに時計塔のある花壇があり、通勤や待ち合わせに重宝していた。 住民サービスとして、鎌倉市で再設置して頂けないか。
担 当 部 課	都市整備部 道水路管理課

議題に対する回答等	
<p>大船駅西口に時計塔のある花壇を再設置してほしいとのご要望ですが、以前のものは寄贈により設置されたもので、大船駅西口を整備する際に撤去されたものと思われます。</p> <p>現在は、既存の階段にエスカレーターが設置されたため、時計塔のある花壇は歩行者動線となっており、改めて設置することができない状況にあります。</p> <p>このような状況においては、大和橋のたもとの空間を活用したプランター等の設置は可能ですが、場所や維持管理の問題もあり、今後町内会と協議・調整を図ってまいりたいと考えております。</p>	
添付資料	大船駅西口写真

実施済みの方策

№6 新乗降口前歩道拡幅



拡幅前の時計台のあった状況



<都市整備部・樋田部長>

お配りした資料の裏面にかつてあった時計台と碑の写真があります。写真の右側に階段がありまして、その脇に新しくエスカレーターを設置しました。現在はエスカレーターを設置したところから歩行者の動線になっているので、この場所に設置するのは厳しい状況です。柏尾川沿いに歩行者スペースが横浜側に向かってあります。その脇がトイレに向かった動線になっています。大和橋のたもとの部分にフラワーセンターの掲示板があります。

掲示板のたもとにプランターが置いてありますので、プランターを設置できるのではないかと。ただ、維持管理の問題もあります。水やりなどもありますので今後町内会と協議調整をはかってまいりたいと考えております

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

この写真を見ると階段とエスカレーターの間の上に時計はあります。時間がここで認識できる。プランターを置くと管理者の問題もありますし、住民側から前向きの提案がないと難しい気がします。

<都市整備部・樋田部長>

実は今時計はありません。この写真は今と異なるのでその認識をお願いします。

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

今は電源がなくても電波時計で動くので経費面ではそんなにかかるものではないと思います。

平成 29 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	29-玉縄-2
テ ー マ	公園に高齢者用運動器具の設置を
内 容 詳 細	<p>高齢化率の高い鎌倉市は、高齢者の健康寿命を伸ばす工夫が必要と考える。高齢者が地域で自立して、いきいきと暮らしていくためにも、若い世代の負担を少しでも軽減するためにも、身近なところでいつでも体力維持・増進を実践できる場所が必要。</p> <p>そこで散歩のついでに、あるいは自分の都合にあわせて自由に使用できる高齢者用運動器具を、公園に設置していただくよう要望する。高齢者が外に出て人と触れ合い、体力気力を充実させ健康寿命を延ばすことが医療費削減にもつながる。</p>
担 当 部 課	都市整備部 公園課

議題に対する回答等	
<p>公園への高齢者用運動器具、いわゆる健康器具の設置については、これまで地域からの要望を踏まえ、設置してきました。</p> <p>しかし、公園の利用実態はさまざまであり、地域の特性にあった遊具等の設置が求められていることから、今後公園のあり方を検討する中で健康器具の設置についても検討してまいります。</p> <p>なお、健康器具については、これまで市内 16 箇所の公園に 32 基を設置しております。</p>	
添付資料	

<都市整備部・樋田部長>

地域からのご要望を踏まえて設置しています。公園の利用実態が子どもが多い、高齢者が多いなど地域の特性によって使われ方が異なりますので、一律に同じ遊具・器具の設置はしていません。ご要望があった場合は公園の在り方を検討する中で健康器具の設置も検討していきたいと考えています。現在は、市内16箇所の公園に32基の健康遊具を設置しています。

<玉縄台自治会・増川会長>

いきいき健康体操を実施しているが、外でやりたいと思っても公園に器具がないので、固定された階段を上り下りするような器具があったらと思いますが、要望すれば設置は可能でしょうか。

<都市整備部・樋田部長>

ご要望があれば現地を見て状況に応じて対応していきたいと思います。

<玉縄台自治会・増川会長>

要望はどのように提出すればよいのでしょうか。

<都市整備部・樋田部長>

公園課宛てに文書で提出してください。その後、現地立会や要望のあった器具の使用予定なども併せて検討させてもらえればと思います。

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

ニーズをよく調べないと無用の長物になるので、地域の特性に合ったものにしないと意味がありません。要望を出し具体的に市と詰めていくのがよいと思います。

平成 29 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	29-玉縄-3
テ ー マ	山崎跨線橋北交差点の交通整備
内 容 詳 細	<p>大船方面から藤沢方面へ直進する際、同交差点では右折車両による直進進行閉鎖状態になり、渋滞が発生する。大船駅側の手前に左折側からの合流もあり、ますます直進通行に支障が生じている。</p> <p>玉縄地域の住民増や大型店舗、更に数年後には横浜市田谷地区にバイパス道路のジャンクションが完成する事を考慮すると、現在の道路は交通量が増え渋滞が拡大すると懸念される。</p> <p>渋滞緩和策として、</p> <p>(1) 車線の整備 (右折車線と直進車線の整備)</p> <p>(2) 時差信号の設置</p> <p>などを検討頂きたい。</p>
担 当 部 課	都市整備部 道路課 まちづくり景観部 交通計画課

議題に対する回答等	
<p>【車線の整備 (右折車線と直進車線の整備)】</p> <p>山崎跨線橋北交差点のうち、現在右折レーンがない県道 402 号(阿久和鎌倉)の大船駅側については、道路管理者である神奈川県藤沢土木事務所から用地の確保が困難な状況であると聞いています。</p> <p>引き続き、当該事務所と連携を図り、右折レーンの整備の可能性について協議を行っていきます。(道路課)</p>	
<p>【時差信号の設置】</p> <p>交差点信号機のサイクル(現示)の見直しや時差式信号機の設置の検討について、再度、交通管理者に要望していきます。(交通計画課)</p>	
添付資料	

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

山崎跨線橋の渋滞ですが、先月定例の理事会に市にも出席してもらいこの件についても話をしました。県警本部にはあの場所に時差式信号をつける申請は出していますが、時期は不明です。

<都市整備部・樋田部長>

右折車線の関係ですが、道路が県道 402 号阿久和鎌倉となっていますので、大船側は管理者である県藤沢土木事務所とも相談中です。右折レーンを作るとなると用地の取得が必要になりますが、現時点ではそれが困難との回答をいただいています。今後も協議を行っていきたいと思います。

<まちづくり景観部・齋藤部長>

時差式信号については、大船警察署から信号協議会に上申をしている状況です。私どもからも改めて大船警察署へ早期の設置をお願いしていこうと考えています。

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

市道と県道が絡みあって複雑なところですが、まずは時差式信号で効果が出るのか、年度内に時差式信号が設置されればと思っています。湘南鎌倉総合病院が大きくなるとますます車が増える懸念もあります。一つだけ市がやってくれたのは、江ノ電バスのフラワーセンター前停留所辺りの植栽地帯をカットしてくれて車が左に寄りやすくなりました。もっと長い切込みをしてもらえるものと思っていたら短かったので当時の道路課長に伝えました。

平成 29 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	29-玉縄-4
テ ー マ	歩道の整備
内 容 詳 細	<p>安全安心な暮らしを支える道路について一考頂きたい。</p> <p>現状① 玉縄地域では側溝の上が歩道になっているのをよく見かける。コンクリートの蓋には雨水を流すためか穴が空いている。穴は当初ゴムの蓋をしていたようだが大方とれている。そのため靴のかかとがはまってしまい、転倒しやすい。また、メガネ、鍵など物を落としてしまい、一時的に不自由な身になってしまう。</p> <p>現状② 歩道の幅が狭い、そのため向かいから来る人を待っていたり、車道を歩いたり歩みにくく危険でもある。</p> <p>現状③ 段差あり、斜目あり、そのため下を向いていないと躓かないか心配であり、キャリーバッグをスムーズに動かすことができない。</p> <p>高齢者の多い地域でもあり、生活道路として日常頻繁に往来する道路を今一度見直し、安全安心に暮らせる地域に甦らせて欲しい。</p>
担 当 部 課	都市整備部 作業センター・道路課

議題に対する回答等

【現状①】

玉縄地区をはじめ、市内の歩道内に側溝が有る場合、かかと等が引っかかることのないようゴム等で穴を塞いでいます。

なお、市民からの御要望や職員によるパトロール等で歩行の支障となる箇所については新たにゴム等を設置します。(作業センター)

【現状②】

本市の道路は幅員が狭く、また道路に面して多数の住宅が建ち並んでいることから、歩道拡幅のための用地確保は大変難しい状況です。そのため、既存の歩道にカラー舗装を施すことやラバーポールを設置し歩道空間を確保するなどの方策により、歩行者の安全確保を図りたいと考えています。(道路課)

【次ページあり】

【現状③】

安全で安心して通行できる歩道の整備については、本市の重要な課題のひとつと認識しています。現在、道路の修繕計画を策定し修繕を進めているところですが、歩道までは手が及ばない状況です。

歩道において劣化が著しい箇所の修繕や補修要望をいただければ随時対応したいと考えております。

添付資料	
------	--

<都市整備部・樋田部長>

一つ目の側溝のふたについて、基本的には歩道に側溝がある場合には、ゴム等で穴を塞いでいます。すべての穴を塞いでいるわけではありませんので、要望があったものや市の職員がパトロールして支障となるようなところは適宜新たなゴムを設置していますので、要望があったらご連絡をください。

2点目の歩道が狭いというご意見ですが、玉縄地域に限らず、全市的な状況で、広くするためには用地を確保する必要があり、住宅が建ち並んでいる中では厳しい状況です。歩道にカラー塗装を施す、ラバーポールを設置することで歩行空間を確保するなど、歩行者の安全の確保を図っているところで

す。

3点目の段差の件ですが、重要な課題の一つで認識しています。道路の修繕計画を策定して進めています。歩道までは手が及んでいない状況です。劣化が著しい箇所は適宜対応していますので、ご指摘いただければ対応していきたいと考えています。

<四季の杜自治会・松浦会長>

私たちの住宅地の中の道路が抜け道なのか、藤沢から湘南鎌倉病院へ向かう車が通っていきます。大船警察署と相談していましたが、今の状態では打つ手がないので市にお願いに行きなさいという指導を受けています。最近、接触事故が起きています。心配なのは湘南鎌倉病院の拡張計画です。ますます交通量が増えると思っています。歩道と車道が白線だけで仕切られているので明瞭に区分するなど安全確保の相談をさせてもらいたいと思っています。

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

ガードレールをつけると美観の問題もありますし、ラバーポールだけというのも不安です。市と相談して安全な対策が出せればと思います。

<松尾市長>

極楽寺の奥にハンプを施したのですが、抜け道として使われることを考えるとハンプが有効ではないかと思っています。しかし、ハンプも音がするというデメリットがあるので色々相談して決めていただく必要があると思います。

<防災安全部・柿崎部長>

白線の内側の歩道を色で分けることもできます。通学路ならカラー化の要望を学校を通じてあげていただければ対応ができるかもしれません。

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

スクールゾーンではないかもしれませんが、学校と相談して何らかの識別を実現したほうがいいですね。

平成 29 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	29-玉縄-5
テ ー マ	防犯チャイムの開設
内 容 詳 細	<p>現在放送されている「鎌倉市防災定時チャイム」にあわせて、防犯チャイムを設けていただきたい。</p> <p>防災チャイムは音階を変え、例えば女性の声にするなど、すぐ防災チャイムと分かるようにする。呼び掛ける言葉も簡単なものにする。当日の出来事などもあれば加える。音声で呼び掛けることで防犯パトロールに加え、鎌倉市全域での防犯効果が増すと思われる。</p>
担 当 部 課	防災安全部 市民安全課

議題に対する回答等	
<p>鎌倉市防災定時チャイム「ゆうやけこやけ」は、放送設備の点検確認のための定時試験として、夏季は 17 時、冬季は 16 時 30 分に放送して、子どもなどへの時間周知も併せて行っているものです。</p> <p>防災行政用無線の放送は、気象情報や地震など災害情報のほか、行方不明者の捜索協力などの情報をお伝えするための手段として運用しており、原則として市民の生命、財産に関わる情報で、かつ緊急を要する場合に限って実施しております。</p> <p>防災行政用無線の使用目的にご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>	
添付資料	

<防災安全部・柿崎部長>

現在、定時チャイムは「夕焼け小焼け」が放送設備の点検確認のための定時試験として4月から9月は17時、10月から3月は16時30分に流れています。これは子どもたちへの時間周知も合わせて行われています。防災行政用無線の放送は緊急時に限って使用していますので、ご理解をいただければと思います。

また、自動的に防災・防犯の情報がメールで送信される防災安全情報メールという仕組みがあります。現在約2万人の方が登録してします。防災行政無線の補完として細かい情報を発信していますので、町内会の集まりなどがあつた際には登録を案内していただきたいです。

<玉縄台自治会・増川会長>

振り込め詐欺等で騙されるのはお年寄りです。メールを使えないお年寄りのために防災無線で周知できないかという提案です。

<防災安全部・柿崎部長>

他市の事例では見守り放送という言葉で放送しているところもあります。同じ文言を定時放送することはできると思いますが、それだと現在のチャイムと効果は一緒です。文言を変えて放送すると問い合わせが殺到するという状況もあります。防災無線は原則緊急時に限っていますので、地域でメールの登録をしている方から伝言できるような仕組みを考えていただければありがたいと思います。

平成 29 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	29-玉縄-6
テ ー マ	防犯灯設置と防犯カメラ設置について
内 容 詳 細	<p>大船駅西口自転車等駐輪場の裏側道路（柏尾川沿い）の歩道で、夜間行き交う人の顔が見えるように、安全確保のため駐輪場の建物に防犯灯を設置してほしい。</p> <p>また、同時に犯罪防止に役立つ防犯カメラの設置を望む。</p>
担 当 部 課	<p>まちづくり景観部 交通計画課</p> <p>防災安全部 市民安全課</p>

議題に対する回答等

大船駅西口自転車等駐輪場隣接の柏尾側河川管理用通路については、夜間における当該施設利用者の利便性向上等を図るため、本年8月頃に防犯灯の設置を予定しております。（交通計画課）

なお、道路等の公共空間を撮影する防犯カメラの設置については、市で1台当たり27万円を上限として設置費用の3/4を補助する制度を創設しておりますので、近隣の自治町内会におきまして、当該制度を活用し、防犯カメラを設置するご協議をお願いできればと考えております。（市民安全課）

添付資料

<まちづくり景観部・齋藤部長>

まず照明についてです。今回の改修により、駐車場が壁に覆われていなかったのが覆われて、遊歩道に漏れていた灯りがなくなり、暗くなってしまったと認識しています。防犯灯の設置を指示しております。遊歩道の改修とセットで防犯灯の設置を進めています。

<防災安全部・柿崎部長>

防犯カメラについてですが、昨年10月から防犯カメラ設置の補助制度を立ち上げています。町内会で申請すると県市合わせて36万を上限に4分の3の27万円まで補助が出ます。詳細については市民安全課でご説明します。

<新富町町内会・高田会長>

線路側から通行している人が見えない建物を造ったのは市であり、指摘したら自治会で負担・管理しろというのは話が違うと思います。

<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

市の管理物である建物の壁に防犯カメラをつけてほしいという提案です。

<新富町町内会・高田会長>

あそこは大勢が通る道です。だから地元の自治会がそれを負担するというのもおかしい話です。駐輪場は数メートル先の人の顔が認識できない状況です。県だの市だの管轄のことを言わずもっと地域住民のことを考えてやってもらいたいです。

<まちづくり景観部・齋藤部長>

今のご意見を踏まえた上で現場の確認をして、カメラの設置も検討したいと思います。今日は持ち帰らせていただきたいと思います。

《後日対応 まちづくり景観部交通計画課》

駐輪場の防犯灯を4基増設し、一定の明るさが確保できた旨を町内会に報告したところ、防犯カメラの設置を行わなくても良いこととなりました。

<大船コーポピアネーズ管理組合・西村会長>

防犯カメラについて、回答票のなお書きについて苦言を申します。私どもは防犯意識が高く、市が導入してくれというよりも先に防犯カメラを4基レンタルで設置しました。この防犯カメラについて確認したところ、既存の設備については補助の対象外とのことでした。行政が考えるより先に設置したのについて既存の設備は補助しないというのは不公平だと思いますがいかがでしょうか。

<松尾市長>

その部分について言うと不公平というご指摘になると思いますが、どこかで線を引かなければいけないのでご理解をいただきたいと思います。

平成 29 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	29-玉縄-7
テ ー マ	ゴミ焼却施設建設問題
内 容 詳 細	<p>鎌倉市は山崎浄化センター内にゴミ焼却場を建設の方針だが、地元住民は負担の公平性等の問題により10以上の町内会が反対し、2年に亘り市側と交渉してきたが解決しておらず、地域住民との対話を充分進めることが必要。なお、市役所の移転先の有力候補地と目される、地域的にも山崎より鎌倉市の中央に近い深沢JR跡地に行政機能を集結することは、鎌倉のまちづくりの視点からも充分検討に値する。過去の既定方針から敢えて脱却する大英断を期待する。</p> <p>なお、山崎浄化センターの緑地は、スポーツ広場への用途変更を併せて検討頂きたい。</p>
担 当 部 課	環境部 環境施設課

議題に対する回答等

一つ目の質問については、新ゴミ焼却施設の建設候補地は、平成 27 年 4 月 17 日に「山崎下水道終末処理場未活用地」とすることを公表しました。

建設に当たっては周辺住民の理解を得ることが不可欠であることから、平成 27 年 4 月及び 5 月に周辺自治町内会の方々へ説明をしました。

その後、平成 27 年 10 月近隣自治町内会で構成する「新ゴミ焼却施設建設に反対する会」が結成され、これまで、8 回の話し合いを行ってまいりました。

直近では、平成 29 年 4 月 14 日に市長が出席した話し合いを行い、山崎浄化センターの臭気等課題については、焼却施設とは別に山崎浄化センター連絡協議会の場で周辺住民と協議を重ねながら適切に対応を図っていくこと、また、負担の公平性については、安全で安心な施設整備を図るとともに、今回、周辺まちづくりの推進を図る具体的な提案を行い、地域に最大限貢献できる施設づくりを行なうことで、理解を得ていきたい旨を説明しました。

しかし、「反対する住民の会」の白紙撤回の意向は変わらず、建設に向けた理解は得られていませんが、今後は、「反対する住民の会」から出された疑問点についての説明、他市の焼却施設の視察や周辺道路状況の双方での確認等を話し合いの機会を通じて提案していきます。

【次ページあり】

また、「反対する住民の会」以外の住民に対してもこれまでの検討状況や周辺まちづくりの考え方について説明するとともに、実現可能な周辺まちづくりの施策について、順次、周辺住民と協議しながら進めていくことにより、理解が得られるように努めてまいります。

二つ目の質問については、新ごみ焼却施設は特に「災害時におけるエネルギーの有効利用の視点」に優れ、山崎浄化センターとの相乗効果が図れることなどから、今後とも当該地での建設を進めていきたいと考えており、周辺まちづくりを進めるとともに、ジョギングやランニングコースの併設など、多目的に市民の皆様が活用し、本市のまちづくりの重要な視点である健康づくりを増進する施設づくりを周辺住民と話し合いながら行うことで、地域への貢献を目指します。

添付資料

<環境部・石井部長>

市民との対話を十分に進めることは重要だと考えています。地元の方からは迷惑施設を2つは容認できない、負担の公平性、平等性からも受け入れられないという指摘をいただいています。市民に負担をかけない安全で安心な施設を提供するとともに、この施設は単なる焼却施設ではなく、地域のコミュニティに貢献できる形で提案させてもらうという説明をしてきました。

最新の機器を使用することと、圧迫感がないような建物になるよう工夫することや、臭気、振動、騒音に対応できるような施設をつくる必要があります。地域とのコミュニケーションを図れるような整備で安心感を与えられるようにしたいと考えています。今後も住民の声を聞きながら進めていきたいと考えています。最後に用途変更の要望ですが、基本的には地域が要望する用途と焼却施設を共存していける施設づくりができればと考えています。

<新富町町内会・高田会長>

今の話はきれいな方にすり替えています。23、4年前に下水処理場ができました。現在空き地になっている場所も下水処理場を増設するという目的で空けてある土地です。現在は防災訓練をしたり子どもたちに広場を使わせたり、出初式が行われたりしていますが、それは最初の目的以外のことです。市は最初に下水処理場をつくった段階で地元と協議の場を設けなかったんです。

七里ガ浜に鎌倉地区腰越地区の処理場がありますが、あそこでは搾って水は海に流します。この搾りかすは山崎に運ばれてきます。たまたま今は機械が止まっていますが市全域のものを燃やしています。排ガスは基準を満たしているということですが、微量でも周辺地域の方はそれを吸わされています。

臭いをなくすことができるよう、連絡協議会をつくって皆で一緒になって話し合いをしてきました。ところが2年前になんの相談もなしに山崎にごみの焼却場をつくると市長が発表しました。設備が良くなっても大きな災害が発生したときには何の裏付けにもなりません。まして全市のものを山崎でやることになります。これは不公平じゃないですか。そこをきちんと考えないで進めているのが反対の理由です。何回話し合いをしてもいつも返ってくる言葉は同じです。私たちは今後も山崎に処理場をつくることを白紙撤回してほしいと要望してきています。

<山王町内会・吉田会長>

ごみ問題は鎌倉が抱えている最大の問題です。市のごみ行政に対する不信感があります。ごみの有料化をやりました。有料化と戸別収集はセットになっていた。ところが有料化が実施されたのに戸別収集の約束は反故になっている。セットだからお金を払いなさいということになっていたのに、戸別収集は実施されない。この説明がきちんとされていない。

<松尾市長>

戸別収集は勝手にやめたわけではありません。予算を計上しましたが、議会によって削除されてできない状況です。戸別収集については引き続き実施していく姿勢で臨んでいきます。

<山王町内会・吉田会長>

議会で否決されたので仕方ないという言い方だと納得できない。

<松尾市長>

仕方ないということではなくて、まずは議会に認めていただかないと実施ができないということです。

<山王町内会・吉田会長>

今まで話し合いを8回やっていますが、同じ話の繰り返しです。なぜ山崎かというと、災害時のエネルギーの有効利用ができるからです。ごみで発電した電気を隣の浄化槽のプラントに供給してエネルギーを有効利用するというのが理由です。しかしよく考えてください。災害時にはプラントが倒れるかもしれない。倒れたら発電どころではないのでまったく理屈になりません。山崎ありきで話が進んできたということです。何回議論をしても話が進まない。

市長は私が市長である限り山崎に建てると宣言している。地域住民に理解ができるような説明がされていないので困っている。一番負担になって大変なのは近隣住民です。建ててほしくないのは地域住民の総意で、非常に困っている現状をよく理解していただきたい。

【その他のテーマについて】

＜鎌倉ロジュマン自治会・石井会長＞

岡本2丁目マンションの土地の境界問題が発生して解決していません。現状の説明をお願いしたい。

＜松尾市長＞

隣接する土地所有者から提起されていて境界が確定していない状況です。裁判結果が出ている部分もあり、相手方の主張している部分は違うのではないかと考えています。現在の状況で計画を進めていくのは困難であると考えています。近々その所有者の方と直接会う予定です。話し合いで解決し、なるべく早く施設の建設ができるよう進めていきたいと考えています。

付 録

当日配布資料

- 1 鎌倉市市政e-モニター登録のご案内
- 2 鎌倉市ふるさと寄附金